



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月12日

上場会社名 株式会社 創健社

上場取引所 東

コード番号 7413 URL <http://www.sokensha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 靖

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 飯田雅之

TEL 045-491-1441

半期報告書提出予定日 2024年11月12日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	2,367	1.0	6		9		3	
2024年3月期中間期	2,344	1.0	6		6		9	

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 1百万円 (%) 2024年3月期中間期 4百万円 (%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	4.89	
2024年3月期中間期	13.91	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	3,046	1,096	36.0	1,566.58
2024年3月期	3,023	1,111	36.8	1,589.12

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 1,096百万円 2024年3月期 1,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		20.00	20.00
2025年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期期末配当金の内訳普通配当 10円00銭 店頭登録(上場)30周年記念配当 10円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,043	3.3	30	24.5	34	25.7	18	132.1	25.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	705,500 株	2024年3月期	705,500 株
2025年3月期中間期	5,745 株	2024年3月期	5,745 株
2025年3月期中間期	699,755 株	2024年3月期中間期	699,755 株

期末自己株式数

期中平均株式数(中間期)

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(会計方針の変更に関する注記)	10
(中間連結損益計算書に関する注記)	10
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2024年4月1日～2024年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの影響が少なくなり人流が活発化するなど、経済が正常化してまいりました。一方で給与の上昇が大手企業に限られていることや、国際的な情勢不安の長期化、中国経済の鈍化、原油などのエネルギー資源や原材料価格、販売価格等の度重なる値上げ、円安の進行等は、依然として景気の先行きを大きく不透明にしております。

当社グループを取り巻く食品業界におきましては、外食産業、観光産業向けの需要は緩やかな回復の兆しがみられ、加えてECサイトやデリバリーサービスなど、非接触での販売・サービスが拡大しておりますが、物価上昇に伴う消費者の節約志向の高まりや物流問題など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の下、不要な食品添加物を使わない自然食品専業企業として55年余の年月を積み重ねてきた歴史に信頼をいただいている当社グループは、第6次中期経営計画『新たな成長に向けた価値観の向上』（2023年4月1日～2026年3月31日まで）を作成しました。その2年目となります当連結会計年度におきましては、2024年4月1日より施行された食品添加物の不使用表示に関するガイドラインを遵守し、環境に配慮したオーガニック商品や身体にやさしいプラントベース商品を消費者に分かりやすく販売し、当社グループブランド商品のファン作りに注力するとともに、目標の営業利益額を達成するために役員・社員一丸となって取り組む所存でございます。

当中間連結会計期間における当社グループの商品品目別売上高の主な増減につきましては、「調味料」が、液体だし等の売上減があったものの、マヨネーズ等の売上増により前年同期比29百万円増（3.5%増）の8億79百万円、「副食品」が、休止となりましたスープ等の売上減があったものの、有機トマト缶等の売上増により前年同期比23百万円増（4.2%増）の5億81百万円、「油脂・乳製品」が、えごま油等の売上減があったものの、容量を統合いたしましたマーガリン等の売上増により前年同期比9百万円増（4.6%増）の2億28百万円、「乾物・雑穀」が、国内産原材料の入手困難な状況が続き休止中の国産ひじき等の売上減があったものの、もち麦等の売上増により前年同期比0百万円増（0.2%増）の1億25百万円となりました。しかしながら、「嗜好品・飲料」が、新商品のカシス飲料等の売上増があったものの、豆乳等の売上減により前年同期比35百万円減（7.2%減）の4億56百万円、「その他」が、オーガニックダニよけスプレー等の売上増があったものの、洗剤等の売上減により前年同期比2百万円減（8.2%減）の33百万円、「栄養補助食品」が、ハトムギ酵素等の売上増があったものの、キダチアロエ等の売上減により前年同期比1百万円減（2.6%減）の63百万円となりました。

この結果、全体の売上高は、23億67百万円（前年同期比23百万円増、1.0%増）となり、売上総利益率24.9%と前年同期比0.2ポイント増となりました。販売費及び一般管理費は5億83百万円（前年同期比3百万円減、0.5%減）となり、営業損益につきましては、営業利益6百万円（前年同期は、営業損失6百万円）となり、経常損益につきましては、経常利益9百万円（前年同期は、経常損失6百万円）という結果にて終了しました。また親会社株主に帰属する中間純損益につきましては、親会社株主に帰属する中間純損失3百万円（前年同期は、親会社株主に帰属する中間純損失9百万円）となりました。

品目別販売及び仕入実績の状況

当社グループの事業は単一セグメントであり、当中間連結会計期間の販売及び仕入実績をセグメントごと及び事業部門ごとに示すことができないため、品目別に示すと、次のとおりであります。

① 販売実績

品目別	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)			主要商品
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比	
油脂・乳製品	218,039	9.3	228,006	9.6	4.6%増	マーガリン・ベに花油・えごま油・オリーブ油・ココナッツオイル・菜種油・原材料用サラダ油・ごま油、カメリナオイル
調味料	850,148	36.3	879,782	37.2	3.5%増	醤油・味噌・砂糖・塩・酢・カレー・シチュー・マヨネーズ・ドレッシング・液体だし・顆粒だし・醗酵調味料・蜂蜜
嗜好品・飲料	491,908	21.0	456,435	19.3	7.2%減	菓子・野菜果汁飲料・お茶・ドライフルーツ・五穀茶・発酵飲料・ナッツ類・メイシーシリーズ(菓子)・豆乳・はちみつ製品
乾物・雑穀	124,978	5.2	125,266	5.3	0.2%増	小麦粉・パン粉・米・黒米・雑穀・鰹節・昆布・ひじき・蓮根粉・ハトムギ粒・餅きび・押麦・キヌア・切干大根・チアシード・炒り胡麻・もち麦・味付のり・干し桜えび・タピオカ粉末・おから
副食品	557,808	23.8	581,346	24.5	4.2%増	ジャム・スープ・レトルト食品・麺類・缶詰・熟成発酵黒にんにく・パンケーキ粉・らっきょう甘酢漬・シリアル食品・みそ汁・お節お重商品・炊き込みごはんの素・五目ちらし寿司の素・かき揚げ(冷凍)・コンビーフ・ピーナッツスプレッド・蒲鉾
栄養補助食品	64,880	2.8	63,183	2.7	2.6%減	青汁・キダチアロエ・梅エキス・ミドリムシ・ハトムギ酵素・乳酸菌・天茶エキス・コラーゲン・碁石茶・生姜粉末・板藍根・ルイボス茶・ルテイン・モリンガ(ハーブ系青汁)・くま笹エキス・ビタミンC
その他	36,615	1.6	33,625	1.4	8.2%減	トイレタリー・機械器具・化粧品・虫よけスプレー・歯磨き粉・ウイルス対策品など
合計	2,344,379	100.0	2,367,646	100.0	1.0%増	—

② 仕入実績

品目別	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比
油脂・乳製品	174,488	9.8	191,297	10.5	9.6%増
調味料	650,280	36.7	652,539	35.6	0.3%増
嗜好品・飲料	388,401	21.9	374,594	20.5	3.6%減
乾物・雑穀	106,325	6.0	108,165	5.9	1.7%増
副食品	365,710	20.6	420,936	23.0	15.1%増
栄養補助食品	43,361	2.5	40,471	2.2	6.7%減
その他	44,131	2.5	42,334	2.3	4.1%減
合計	1,772,698	100.0	1,830,341	100.0	3.3%増

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて19百万円増加し、24億27百万円となりました。この主な要因は、「受取手形及び売掛金」の86百万円減少などがあったものの、「商品及び製品」の66百万円増加及び「現金及び預金」の38百万円増加などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3百万円増加し、6億19百万円となりました。この主な要因は、「リース資産」の16百万円増加などがあったものの、「保険積立金」の6百万円減少及び「貸倒引当金」の2百万円増加などによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて23百万円増加し、30億46百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1億14百万円減少し、11億68百万円となりました。この主な要因は、「支払手形及び買掛金」の1億16百万円減少などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて1億53百万円増加し、7億81百万円となりました。この主な要因は、「長期借入金」の1億27百万円増加などによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて39百万円増加し、19億50百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて15百万円減少し、10億96百万円となりました。この主な要因は、「利益剰余金」の17百万円減少（親会社株主に帰属する中間純損失3百万円の計上、配当総額13百万円）によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、財務活動の結果1億24百万円及び投資活動の結果1百万円を得て、営業活動の結果83百万円を使用し、当中間連結会計期間末には11億10百万円（前年同期比30百万円減）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に係るキャッシュ・フローは、売上債権の減少額86百万円などにより一部相殺されたものの、仕入債務の減少額1億14百万円及び棚卸資産の増加額66百万円などにより、使用した資金は83百万円（前年同期は80百万円の獲得）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に係るキャッシュ・フローは、保険積立金の積立による支出8百万円などにより一部相殺されたものの、保険積立金の解約による収入13百万円などにより、獲得した資金は1百万円（前年同期は33百万円の使用）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に係るキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出1億8百万円などにより一部相殺されたものの、長期借入れによる収入2億50百万円などにより、獲得した資金は1億24百万円（前年同期比74百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、前回予想(2024年5月17日に発表いたしました連結業績予想)から変更ありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,306,163	1,344,283
受取手形及び売掛金	746,783	660,182
商品及び製品	271,772	338,179
仕掛品	482	18
原材料及び貯蔵品	31,799	32,105
その他	50,648	53,038
貸倒引当金	△73	△780
流動資産合計	2,407,576	2,427,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	332,915	337,837
減価償却累計額	△272,132	△275,223
建物及び構築物（純額）	60,782	62,613
土地	88,371	88,371
リース資産	44,573	62,353
減価償却累計額	△20,453	△21,793
リース資産（純額）	24,120	40,559
建設仮勘定	4,847	255
その他	216,827	215,722
減価償却累計額	△191,593	△191,811
その他（純額）	25,233	23,910
有形固定資産合計	203,356	215,710
無形固定資産		
その他	22,648	21,268
無形固定資産合計	22,648	21,268
投資その他の資産		
投資有価証券	103,425	105,786
保険積立金	257,070	251,016
繰延税金資産	2,137	1,421
その他	27,611	27,250
貸倒引当金	△664	△2,918
投資その他の資産合計	389,580	382,556
固定資産合計	615,585	619,535
資産合計	3,023,162	3,046,564

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	610,701	494,509
短期借入金	522,348	535,876
リース債務	5,750	7,098
未払法人税等	8,935	18,065
賞与引当金	22,956	25,198
その他	113,051	88,250
流動負債合計	1,283,743	1,168,997
固定負債		
長期借入金	276,167	404,023
リース債務	16,712	32,719
役員退職慰労引当金	147,200	152,200
退職給付に係る負債	158,177	163,657
その他	29,168	28,747
固定負債合計	627,425	781,346
負債合計	1,911,168	1,950,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	920,465	920,465
資本剰余金	45,965	45,965
利益剰余金	127,250	109,830
自己株式	△11,154	△11,154
株主資本合計	1,082,526	1,065,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,467	31,113
その他の包括利益累計額合計	29,467	31,113
純資産合計	1,111,993	1,096,219
負債純資産合計	3,023,162	3,046,564

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	2,344,379	2,367,646
売上原価	1,764,600	1,777,805
売上総利益	579,779	589,840
販売費及び一般管理費	※ 586,647	※ 583,443
営業利益又は営業損失(△)	△6,867	6,396
営業外収益		
受取利息	33	68
受取配当金	1,016	1,284
仕入割引	1,571	1,627
破損商品等賠償金	212	596
その他	1,934	2,176
営業外収益合計	4,767	5,753
営業外費用		
支払利息	2,119	2,228
支払手数料	1,866	—
その他	167	333
営業外費用合計	4,153	2,561
経常利益又は経常損失(△)	△6,253	9,588
特別損失		
固定資産除却損	535	0
保険解約損	—	85
特別損失合計	535	85
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△6,788	9,503
法人税、住民税及び事業税	2,941	12,927
法人税等合計	2,941	12,927
中間純損失(△)	△9,730	△3,424
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△9,730	△3,424

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
中間純損失（△）	△9,730	△3,424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,410	1,645
その他の包括利益合計	14,410	1,645
中間包括利益	4,680	△1,778
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	4,680	△1,778
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△6,788	9,503
減価償却費	13,308	15,257
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,000	5,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	472	5,479
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,193	2,242
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12	2,960
受取利息及び受取配当金	△1,049	△1,352
仕入割引	△1,571	△1,627
支払利息	2,119	2,228
保険解約損益(△は益)	—	85
固定資産除却損	535	0
売上債権の増減額(△は増加)	△50,216	86,592
未収入金の増減額(△は増加)	△9,449	△2,029
棚卸資産の増減額(△は増加)	△23,925	△66,249
仕入債務の増減額(△は減少)	160,869	△114,564
未払金の増減額(△は減少)	△12,276	△6,290
未払消費税等の増減額(△は減少)	5,942	△12,993
その他	8,277	△3,286
小計	90,042	△79,043
利息及び配当金の受取額	1,034	1,332
利息の支払額	△2,030	△2,430
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△8,435	△3,326
営業活動によるキャッシュ・フロー	80,609	△83,468
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△233,900	△233,900
定期預金の払戻による収入	233,000	238,100
有形固定資産の取得による支出	△10,281	△6,793
無形固定資産の取得による支出	△14,070	△1,990
貸付金の回収による収入	159	137
保険積立金の積立による支出	△8,435	△8,015
保険積立金の解約による収入	—	13,984
その他	260	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,268	1,523
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	170,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△111,464	△108,616
リース債務の返済による支出	△2,260	△3,335
配当金の支払額	△6,943	△13,783
財務活動によるキャッシュ・フロー	49,331	124,265
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	96,673	42,319
現金及び現金同等物の期首残高	1,043,705	1,068,063
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 1,140,378	※ 1,110,383

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
荷造運送・保管費	163,427千円	161,111千円
貸倒引当金繰入額	—	2,960
給料手当及び賞与	137,834	129,794
研究開発費	18,918	24,116
退職給付費用	10,091	8,232
役員退職慰労引当金繰入額	5,000	5,000
賞与引当金繰入額	19,637	21,658

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
現金及び預金勘定	1,377,578千円	1,344,283千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△237,200	△233,900
現金及び現金同等物	1,140,378	1,110,383

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。